

長浜市総合計画の策定に向けて

1 策定趣旨

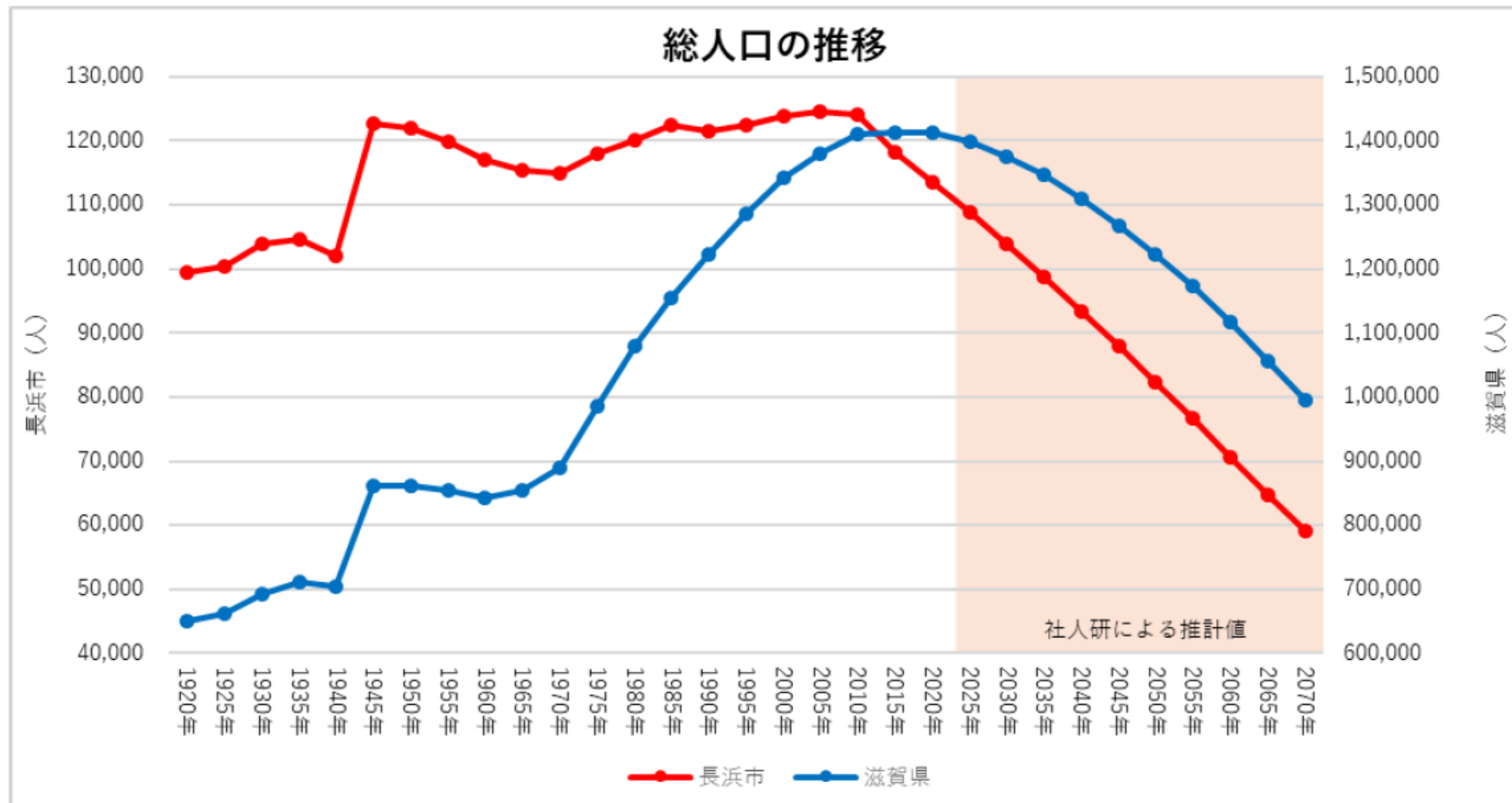
本市のまちづくりを進めるうえで、長期的な展望に立った「めざすまちの姿」を明らかにし、その実現に向けて、総合的かつ計画的に行政運営を行うための指針として、平成29年度を初年度とする「長浜市総合計画」を策定したが、その計画期間が令和8年度末をもって終了することから、令和9年度を始期とする次期「長浜市総合計画」を策定します。

2 30年後の長浜市の人口はどう変わる？！

■ 2025年 = 112,085人
(本市住民基本台帳R7.3.1現在)

⇒

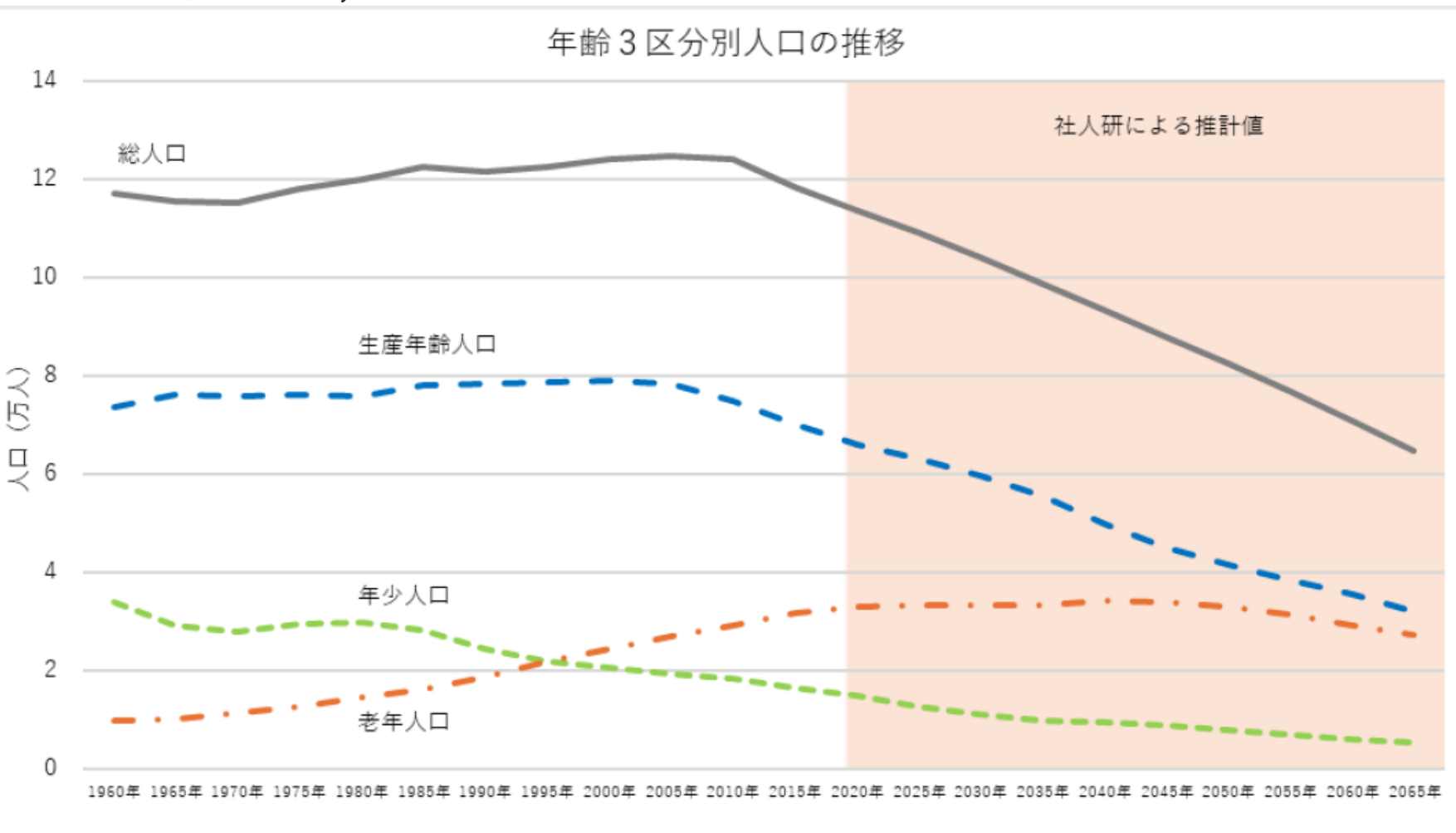
2055年 = **76,609人**
※長浜市の人口が今の約7割に！



2 30年後の長浜市の人口はどう変わる？！

■ 年齢3区分別人口の推移

65 歳以上人口 は一貫して増加傾向にあり、今後もその傾向が続く が、2040年の34,130人をピークに減少に転じる見込みとなっている。



	2025年	2055年
年少人口	12,260人	6,955人 (56.7%)
生産年齢人口	66,506人	38,226人 (57.5%)
老年人口	33,319人	31,428人 (94.3%)

出典：長浜市人口ビジョン（令和7年3月策定）

3 長浜市人口ビジョンにおける本市人口の長期的展望

■2065 (R47) 年に人口規模73,000人の維持及び人口構造の若返りを目指す。

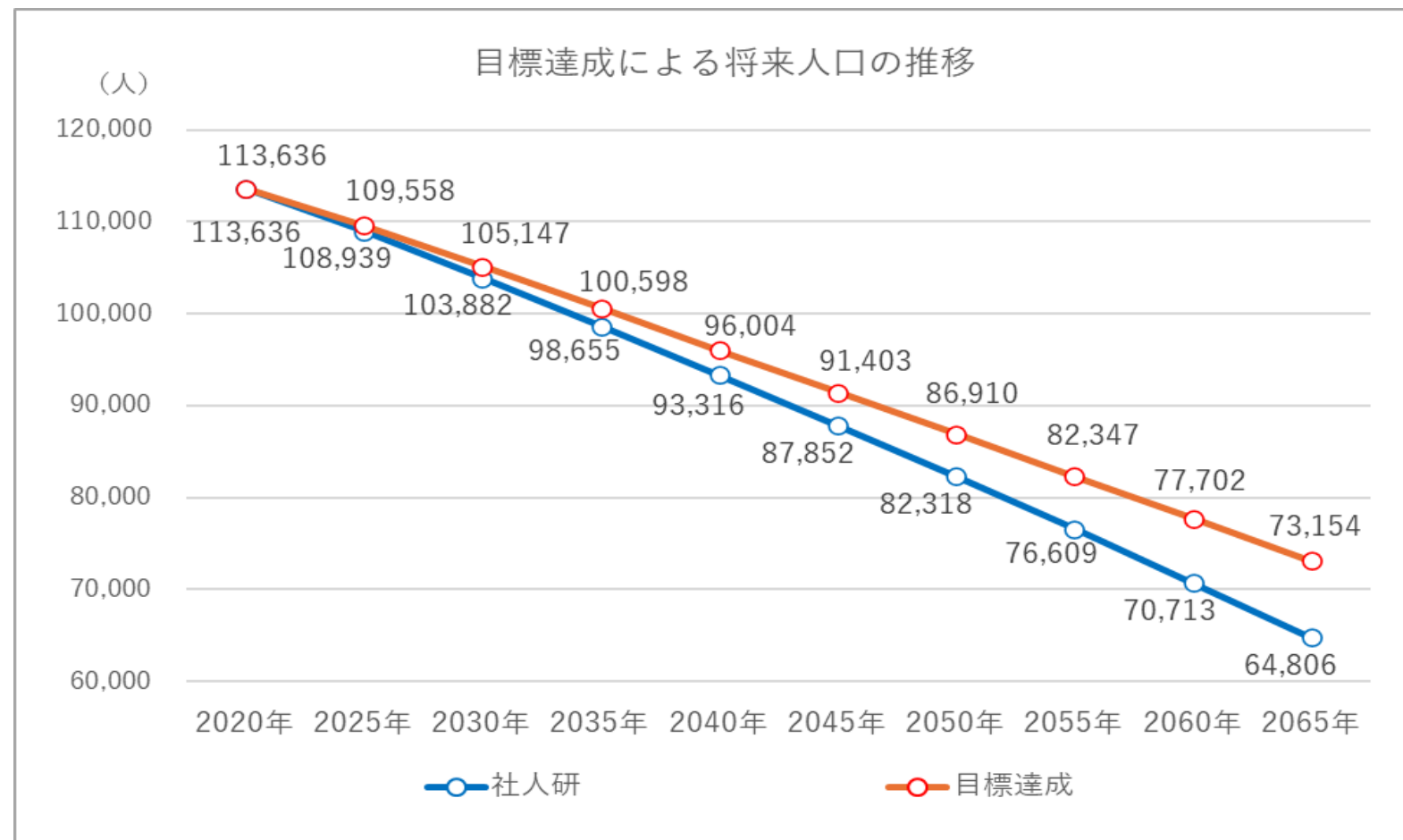
※算定方法

内閣府配付のシミュレーション用ワークシート(令和6年(2024年)6月版)を基に、社人研推計(令和5年(2023年)推計)における推計値を用いて将来の5年毎の総人口を試算【自然増減】

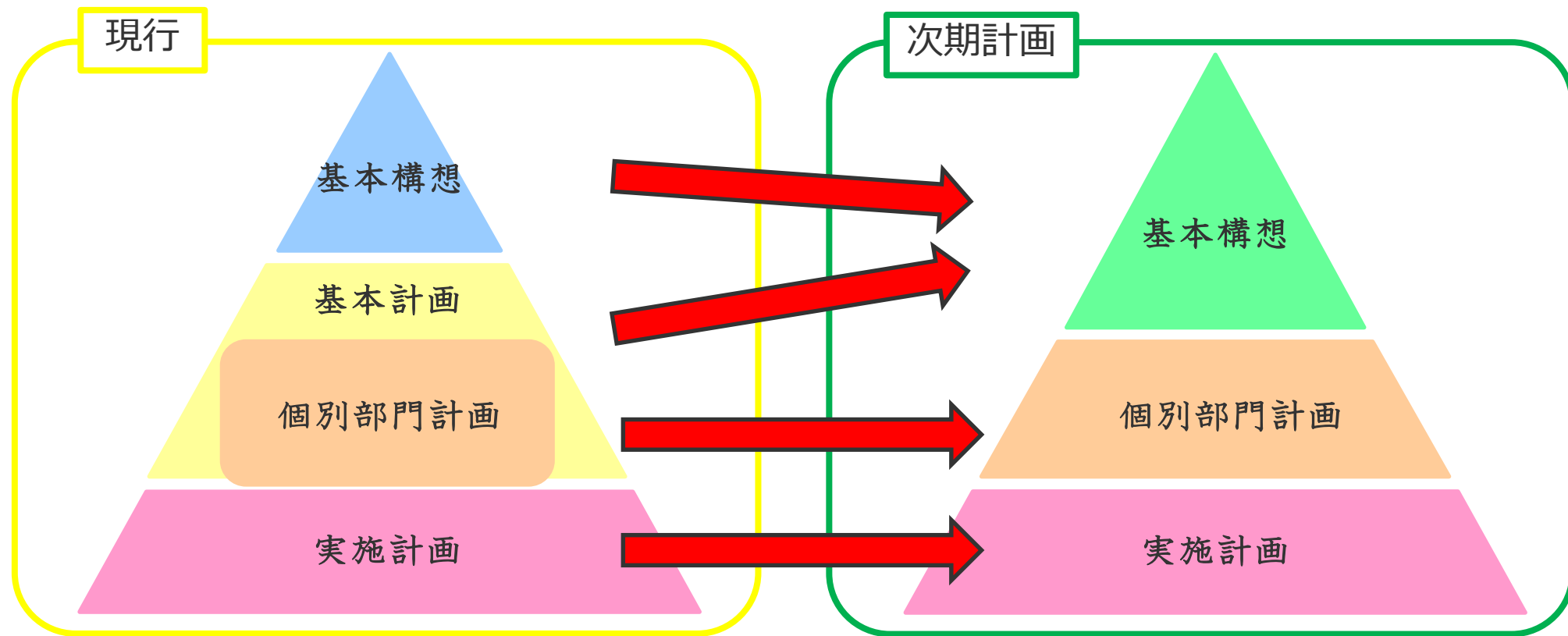
2020(R2)年の出生率を2022(R4)年の1.56と仮置きし、5年で0.005 ずつ上昇させると仮定し、2060(R42)年に1.6を達成し、以降は維持。

【社会増減】

35-39歳以下の世代が2025(R7)年を基準として、5年間で10%ずつ社会減を緩和。



4 策定方針



計画体系：総合計画は『基本構想』『個別部門計画』『実施計画』の3階層から構成

4 策定方針

基本構想

基本構想

- ・まちづくりにおいて、めざす将来都市像及び実現に向けて取り組んでいく政策を体系的に定めるもの
- ・計画期間：令和9年度から令和20年度までの12年間
- ・構成（案）：「策定にあたって」、「めざすまちの姿」、「まちづくりの政策」、「構想実現に向けた行政の取組」等

個別部門計画

個別部門計画

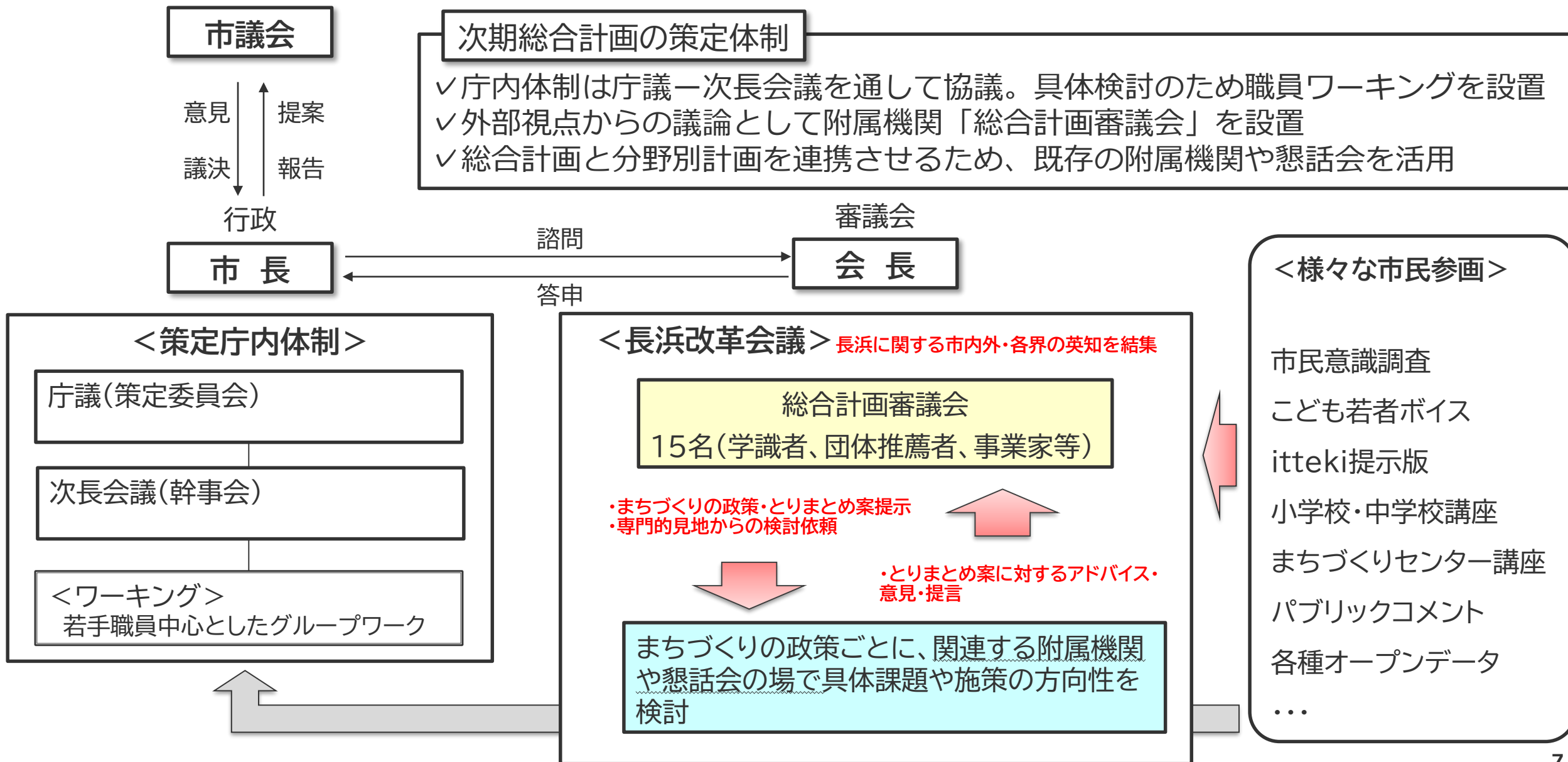
- ・既存や今後策定予定の部門計画において、それぞれの進捗・達成状況を評価するための目標指標を定めるもの
- ・計画期間：個別部門計画による

実施計画

実施計画

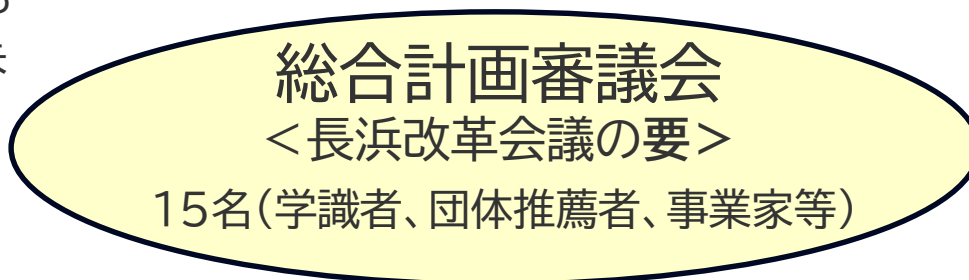
- ・個別部門計画に掲げる目標を着実に達成するため、具体的な事務事業を示し、進捗管理を行うもの
- ・計画期間：毎年度
- ・構成（案）：「事業概要」、「主な指標値」、「予算・決算」等

5 策定体制



6 長浜改革会議 全体イメージ

総合計画審議会を要にして、各附属機関や懇話会で施策議論を交わし、市の新しい未来を創り上げていく。この議論のつながりを『長浜改革会議』と総称する。



【審議会の役割】

- ・総合計画の全体検討
- ・めざすまちの姿に必要なまちづくりの政策の検討

・まちづくりの政策・とりまとめ案提示
・専門的見地からの検討依頼



・とりまとめ案に対するアドバイス・意見・提言

【政策のテーマ例】

- こども若者
- 健康医療福祉
- 歴史自然観光
- 産業

【施策議論する附属機関等】

- 未来こども若者会議
- 地域福祉計画検討委員会
- 環境審議会
- 観光振興ビジョン懇話会
- 産業振興ビジョン懇話会

【政策のテーマ例】

- 教育文化
- 安心安全
- 進取の気性

【施策議論する附属機関等】

- 教育振興基本計画策定委員会
- 都市計画審議会
- 市民協働推進会議
- 公共施設マネジメント推進委員会

【議論の流れ】

- 審議会において、現状課題や未来洞察をふまえ、めざすまちの姿を検討
- めざすまちの姿を実現させるためのまちづくりの政策を検討
- 政策のテーマごとに関連する附属機関等で施策の方向性及び具体の取組を検討

7 策定スケジュール

